

次期総合計画の策定に係る各種審議会や委員会等における意見聴取の概要

1 会の名称

平成 30 年度第 2 回県北広域振興圏行政連絡協議会

2 県側出席者

県北広域振興局

3 開催日時

平成 30 年 12 月 17 日（月） 15 : 30～17 : 00

4 主な意見の概要

- ・ 幸福度について、4 広域圏の中で県北圏域だけが低かったが、どの項目の幸福度が低く、それに対して「地域振興プラン」にどのように盛り込まれているのか。
- ・ 若い人たちには I C T 機器を利用した農業が非常に普及してきていることから、そのような次世代型の農業を推進する取組に対し、支援いただきたい。
- ・ 養鶏業に対する政策が見えてこない。企業努力も必要だが、鶏糞の利活用や処理が順調に進めば、さらに養鶏場が作れ、ポテンシャルも広がるので、鶏糞の利活用等について検討願いたい。
- ・ 鶏の生産地ながら自分たちが食することが少ないと感じており、来年から、道の駅を使い、毎月「鶏肉の日」を設定し P R していきたいと考えているので、支援いただきたい。
- ・ 鶏王国ブランド推進事業とあるが、6 次産業化をしっかりと進め、地元のを地元の人が知って利用することが基本になる。そして、商品のブラッシュアップや、コラボの商品を作っていくというようなことを進めていければ良い。
- ・ 農福連携を本気で進めていただきたい。障がい者がその仕事でご飯が食べられる状況にすることが大きなテーマである。
- ・ 労働力不足により、外国人研修生の受入れの流れが、今後各市町村に広がっていくと思うので、支援の強化をお願いしたい。
- ・ スポーツについて、「カーリングなど」と記載があるが、アイスホッケーも付け加えていただきたい。
- ・ みちのく潮風トレイル、ジオパーク、東北お遍路巡礼があるが、危険な場所も多くあるので、ハード部分は国から支援をいただきながら、安全で女性も子どもも歩けるようなコースを作っていただくことを期待する。
- ・ 御所野遺跡を核とした交流人口の拡大は、世界遺産登録になってからということではなく、登録に向けた取組と並行して進めるべきものである。機運醸成と広域観光の両方に位置づけされていることは良い。
- ・ 世界遺産登録をきっかけとして広域が活性化できるよう、ソフト・ハード両面で支援をお願いしたい。